

● 事業案内 ●

☆自主事業 「女子会キャンプ」☆【日時：平成26年2月22日（土）～ 23日（日）】

- 集合場所＝名護青少年の家（名護市名護5511） ●趣 旨 ＝テント泊や野外炊飯など野外活動にチャレンジする。
- 内 容 ＝テント泊、野外炊飯、星空観察、
キャンプに興味のある仲間を見つけ交友関係を広げる。
サンゴ型どり染めマイバック作り
- 対 象 ＝ 一般女性（キャンプ初心者の方）20名程度
- 参加料 ＝ 1,700円（食費、クラフト代、保険料など）
- 申込方法＝ 電話受付（8：30～17：30）
- 受付期間＝ ～2月14日（土） ※月曜休所日



☆主催事業 「やんばるの生態を学ぼう」☆【日 時：平成26年3月1日（土）】

- 場 所 ＝ 名護青少年の家（名護市名護5511） ●内 容 ＝ 講義及び自然散策
- 講 師 ＝ 阿部 篤志氏
- 対 象 ＝ 一般の方（小学生以上）20名程度 ●参加料 ＝ 300円（資料代、保険料など）
- 申込方法＝ 電話受付（8：30～17：30） ●受付期間＝ 2月13日（木）～2月27日（木）※休所日除く



講師：阿部 篤志（あべ あつし）

所属：沖縄美ら島財団総合研究センター研究二課 係長

県立名護青少年の家非常勤専門職員

専門：森林生態学 沖縄の野生生物



～Coming Soon～

☆主催事業「食と身体づくり～沖縄を食べよう～」☆ ☆主催事業「キッズアドベンチャー」☆

期 日 ＝ 平成26年3月16日（日）

期 日 ＝ 平成26年3月21日（金）～ 23日（日）

対象及び人数 ＝ 一般30名程度

※2泊3日

対象及び人数 ＝ 小学4年生以上30名程度

詳しくは名護青少年の家までお問い合わせ下さい。

発行 2014年(平成26年) 1月31日（金）



沖縄県立
名護青少年の家
Okinawa Prefecture Nago Youth Center



指定管理者

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation

ブログ
も見てね！
QRコード



<http://www.opnyc.jp/staffblog/>



名護青少年の家から望む
中央公園内「さくらの園」

平成26年度 一般利用受付開始!!

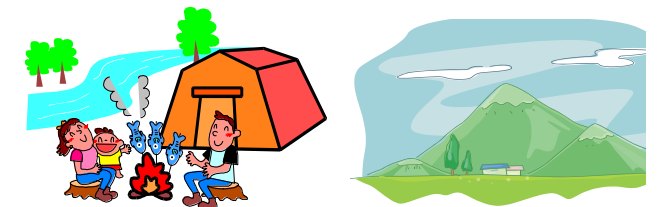
平成26年2月1日(土)から平成26年度（平成26年4月～平成27年3月）の一般団体の利用受付を開始します。
お申し込み方法は、「名護青少年の家HP」（申し込み方法）をご参照ください。

名護青少年の家で研修・宿泊学習を計画中の団体及び皆様方の早めのご連絡をお願い致します。
たくさんの方のご利用をお待ちしております。

☆【問い合わせ先】☆

●沖縄県立名護青少年の家

TEL：0980-52-2076



名護岳に咲く花々

カンヒザクラ(寒緋桜) バラ科 サクラ属

Vol.10

学名：〈Prunus campanulata〉



施設周辺（和球の碑）にて(1月22日撮影)

沖縄で桜といえばこのカンヒザクラを指し、一足早い春の訪れを告げます。本島北部では鮮やかに咲き誇り大勢の花見客でにぎわいます。

和名の由来は、「寒のころに緋色(ひいろ)の花をつける桜」にちなみヒカンザクラ(緋寒桜)とも呼ばれますが、別種のヒガンザクラ(彼岸桜)と混同されることからカンヒザクラが多く使われます。

中国大陸の東沿岸と台湾に自生し、観賞用に関東以南や沖縄で広く栽培されます。落葉小高木で高さは5～8mになり、花の見頃は沖縄では1月下旬～2月上旬、関東では3月頃です。花はふつつ釣形で半開ですが、沖縄で栽培されるものには平開タイプがあり「リュウキュウカンヒザクラ」と名付けられています。台湾の野生株にも同じような特徴をもつものがあります。

専門職員 神谷 智



事業報告

自主事業 名護青少年の家まつり開催！

今年度から沖縄美ら島財団が指定管理者となった「県立名護青少年の家」。皆さんは名護青少年の家にどのようなイメージをお持ちですか。

私たちは、昨年4月に「わらばーだけじゃモッタイナイ！みんなが使える“わったー施設”」というスローガンを掲げ、子どもからお年寄りまで皆さんが気軽にご利用になれる研修施設を目指しています。



火おこしを体験する参加者

学校教育に限らず、家族やグループ単位でキャンプやハイキング、カルチャースクールの活動場所や企業研修など活用方法はさまざまです。



YACによる「ロケット打ち上げ式」

そんな名護青少年の家をもっと皆さんに知っていただこうと当財団は1月25日、満開のカンヒザクラが咲き誇る中、「第1回名護青少年の家まつり」を開催しました。名護市のみならず県内外から約350人の方が来所し名護岳の自然に囲まれながらさまざまなアクティビティを楽しみました。

(担当者：事務長 前川より)

より多くの方に当所を知っていただこうと、今回のまつりを企画したところ、大勢の方にお越しいただき大変うれしく思っています。BGMも何もない飾り気のないまつりでしたが、その分ゆったりとした時間が流れ、サクラや名護岳の自然をじっくり味わうことができたのではないかと思います。来年もお楽しみに！



琉舞「四つ竹」を披露



ネイチャーゲームin名護岳

まつりは、財団芸能部による地謡(じかた)とスタッフのによる琉舞「かぎやで風」「四つ竹」披露で華々しくスタート。アクティビティでは、竹笛づくりなどのクラフト体験やハイキングコースウォークラリー、グラウンドゴルフ大会などを開催。また、日本宇宙少年団名護分団(YAC)による「ロケットの打ち上げ式」もあり、ロケットが勢いよく宙に上がると会場は大いに盛り上がりました。このほか、大浴場の無料開放も行い好評をいただくことができました。



植物の型押し染め

自主事業 クラフトキャンプ

沖縄美ら島財団の自主事業「クラフトキャンプ」を1月18、19日に、県立名護青少年の家で開催。

県内のご家族6組16人の皆さんが名護岳の緑の中で自然の素材を使ったクラフトづくりを楽しみました。

開講式のあと、1泊2日のキャンプで宿泊するテントを各自設営し、それからクラフト体験へと移り、竹で「カナイ笛」を作りました。参加者の皆さんはそれぞれ竹に慎重に穴をあけて、音が出るように穴の調整をするなど工夫して、カナイ笛を完成させました。夕食は野外炊飯で作ったローストチキンやカレーなどに舌鼓。夜にはカナイ笛の名人である浦添春夫さんによる「森のコンサート」もあり、さまざまなカナイ笛で奏でら



クラフトキャンプ参加者の皆さん

れる美しい音色などを楽しみました。2日目には「カーブヤーづくり」(凧作り)も行い、子どもたちはそれぞれに作り上げた凧を、キャンプ場や運動広場で元気いっぱいに揚げていました。浦添市から参加した大城仁さんは「アウトドアが好きなので、家族と一緒にキャンプができてうれしかったです」、直美さんは「2回目の参加です。笛作りは難しいかなと思っていましたが、意外に簡単にできて楽しかったです」柚貴君(宮城小学校4年生)は野外炊飯や笛、凧などを作って貴重な体験ができてよかったです」とニコリ。



竹笛づくりを行う参加者

(担当者：主任 古網より)

今回は「自然の素材を使って自分で作ってみる」というアクティビティを行いました。市販で何でも手に入るようになりましたが、今回作られたものは壊れたら簡単に補修できるものですし、説明書や構造を見て新しいものを作ってみることもできます。これからもこのようなイベントを開催していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

主催事業 なんぐすく桜見ウォーク

県の主催事業「なんぐすく桜見ウォーク」を1月26日、カンヒザクラの咲き誇る名護岳で開きました。第52回名護さくら祭り協力事業。この日は約50人の皆さんが参加。名護城跡公園入口をスタート地点にまずはラジオ体操で体をほぐして専門職員とともに桜見ウォークを開催しました。

途中、名護城やさくらの園などの名所、旧跡、自然を満喫しながら、なかゆくい展望台へと進み、緑深いハイキングコースを抜けて名護青少年の家へ到着。完歩スタンプを押して無事に全員ゴールすることができました。石川市から参加した伊波恵美子さん(70)は「名護岳には40年前に来たきりでした。こんなにサクラが咲いていてラッキー。このようなイベントがあってうれしいです。来年もまた参加したいですね。」と笑顔で話してくれました。



桜見ウォーク参加者の皆さん

(担当者：主任 古網より)

今年はサクラの開花状況も良好で、満開のカンヒザクラを楽しんでいただくことができてよかったです。また、途中あいにくの雨が降って、足元が悪くなり心配しましたが、全員無事完歩できてホッとしました。来年も皆様のお越しをお待ちしております。



ぜんざい片手にピース！

[文：ボランティアスタッフ まえかわあやこ(ライター)]